

めぐりと紫波

発行者 NPO法人紫波みらい研究所

TEL019-671-2244 FAX019-671-2243

E-mail miraiken@shiwa-mirai.com

今号では、町が進める「循環型まちづくり」の一環である、「環境学習のまちづくり」を町との協働で進めている環境団体の活動と、その団体が作成した学校や子ども会などで活用できる「環境学習プログラム」をご紹介します。

〇〇〇紫波町環境衛生組合連合会〇〇〇

紫波町では、昭和40年に地域ごとの衛生組合からなる「衛生組合連合会」が結成されました。

当初は、衛生思想の普及・向上と防疫薬剤及び衛生資材の斡旋が目的でしたが、衛生環境が改善されてきたことから、平成20年4月1日に「紫波町環境衛生組合連合会」と名称を変更し、ごみの減量・資源化や環境美化などの生活環境保全に力を入れ活動しています。

平成8年度からは、町が独自に導入した指

定ごみ袋を販売していますが、それにより、他の市町村と比較して一人当たりのごみの排出量が削減されました。ごみ集積所の衛生指導にも取り組んでいます。ルールを守ったごみ出しの徹底はまだまだむずかしく、町の委託により、町内の各地区で町民を対象としたごみ分別説明会を開催しています。

また、「しわエコ連絡会」※にも参画し、毎年、しわエコまつりを一緒に開催して、ごみ分別の仕方をわかりやすく説明し、ごみの減量・資源化などに取り組んでいます。



ごみ集積所の衛生指導の様子



ごみの分別の仕分けやクイズで分別を学びます。

※「しわエコ連絡会」は、平成25年に、子どもたちや町民を対象とした環境学習に取り組む4団体で結成されました。毎年、「しわエコまつり」を一緒に開催して、ごみの減量・資源化などの普及活動をしています。活動については、NPO法人紫波みらい研究所のHPに「環境団体の紹介」ページがありますので、団体名で検索してご覧ください。

〇〇〇紫波町ごみ減量女性会議〇〇〇

以前からごみ減量やマイバッグ運動を展開してきた町内の女性団体により、平成15年に設立され、家庭と地域でのごみ減量推進を目的に活動しています。

CO₂排出量削減と家庭ごみの減量のため、マイバッグやマイバスケットを持参し、レジ袋使用量の削減を図る活動として、平成19年から財団法人あしたの日本を創る協会が実施する「レジ袋減らし隊」の事業に参加。平成20年からは町独自の「レジ袋減らし隊」を展開し、9か月で約15万枚のレジ袋の削減を実現しました。

また、環境に良い取組みをしている店舗を

町が認定する「エコショップしわ」認定制度では、店舗の認定審査をごみ減量女性会議が行っており、現在39店舗が認定されています。さらに、町内のスーパーなどの小売業者と消費者、行政がごみ減量を進めていくためお互いがそれぞれの立場で、または協力して何ができるかを対話をとおして考える「ごみ減量対話集会」を毎年開催しています。

また、「しわエコ連絡会」にも参画しており、生ごみやレジ袋の削減を目指し、段ボールコンポストや風呂敷の普及活動を実施しています。



レジ袋削減の普及活動



ふろしきの包み方のワークショップ

〇〇〇NPO法人紫波みらい研究所〇〇〇

町内に暮らす人と人、人と食べ物、人と自然などの関わりを見直し、町内外の人々と広く連携しながら、次の世代、その次の世代の子どもたちによりよい紫波を引き継いでいくことを目的に、平成13年に設立し、14年に法人化しました。

設立当時から、子どもたちを対象に、紫波の環境を知り、保全する心を育む「環境探検隊」を開催してきましたが、この活動は、森に入ることが多く、そのことをきっかけに現在も実施している森林を保全する活動につながっています。大学生や地域住民が交流しながら里山づくりを体験する間伐体験や山仕事

を担う人材を育成する活動もそのひとつです。また、町内森林の整備を企業の皆さんに資金・人力の面で担っていただく「紫波企業の森づくり活動」のコーディネートを毎年、実施しています。さらに、就学前の子ども頃から、森のすばらしさを五感で感じてもらう「森のようちえん」も実施しています。

町からの委託事業では、循環型まちづくりの情報発信、視察対応、町の施設見学会の開催、「しわエコ連絡会」との連携による子どもたちを対象とした環境学習の取組みを「町環境循環PRセンター」を拠点に実施しているところです。



森のようちえん 何をみつけたのかなあ～



↑チェーンソーのかまえ方を学ぶ受講生

玉切りを学ぶ受講生→



○○○環境マイスター紫波○○○

町が平成17年から開催する「環境マイスター養成講座」の修了者により、平成18年に設立されました。紫波町の自然環境を100年後の子どもたちに伝えていくために、私たち一人ひとりが環境に関心を持ち、併せて、全ての町民が環境を大切にすることを目的としています。

新しい発見・体験の場として、毎年7月には親子で参加する「あかざわ川自然学校」を開催し、普段あまり入ることのない川の中で水生生物調査を行っています。また、秋には、城山公園で「城山自然学校」を開催し、山野草や昆虫などの観察をとおして、生物の多様

性や環境保全意識を育む活動も行っています。さらに、小学校や地域の環境保全団体が開催する水生生物・水質調査に講師を派遣し、身近な自然の大切さをみんなで学習しています。その他、町からの委託により、町民を対象としたごみ分別説明会を開催し、容器包装のリサイクル、食品ロスの削減など家庭でできる方法を説明し、ごみの減量化を推進しています。また、「しわエコ連絡会」にも参画し、ごみ分別のルール説明、布の端切れを使ったストラップづくり、クラフト体験など各種の活動をとおし、環境の大切さを伝えています。



城山自然学校 虫はいるかなあ～



あかざわ川自然学校

■■■環境学習プログラム一覧■■■

ごみの分別学習：通年

- ① みんなでわかるごみの分別マナー寸劇：紫波町ごみ減量女性会議
ごみの分別に関する知識、マナーについて、寸劇でわかりやすく紹介します。
 - ② ごみ分別説明会：紫波町環境衛生組合連合会、環境マイスター紫波
なぜごみ分別するのか、今のごみ処理の現状、自分たちにできること等について説明します。
 - ③ ごみ分別の体験講座：紫波町環境衛生組合連合会、環境マイスター紫波
実際にごみを分別したり、クイズに答えたり、体験をしながら学ぶ機会を提供します。
- ◎対象学年等：小学1～4年生 ◎時間：30分～1時間程度 ◎人数：30名まで
◎費用：講師料

作ってエコ体験：通年

- ① ふろしきつつみワークショップ：紫波町ごみ減量女性会議
風呂敷の歴史などを紹介しながら、日常的に使える活用方法を紹介します。
 - ② 新聞紙を使ったエコバッグづくり：紫波町ごみ減量女性会議
新聞紙を使ったおしゃれなエコバッグを紹介します。
 - ③ コネコネマイ石けんで水環境学習：NPO法人紫波みらい研究所
石けんづくりをとおして、水の使い方を学びます。
 - ④ 世界にひとつだけのマイバッグづくり：NPO法人紫波みらい研究所
布バッグに布用クレヨンで思い思いの絵を描き、自分だけのバッグを創ります。
- ◎対象学年等：①・②は小学3～6年生、③・④は幼稚園から小学生全学年・保護者も含む
◎時間：30分から1時間程度 ◎人数：①・②は30名、③・④は100名まで

自然観察会

- ① 小学校出前講座：水生生物観察：環境マイスター紫波
町内の川で水生生物調査を行い、身近な水環境を学びます。
 - ② 小学校出前講座：野鳥・昆虫観察：環境マイスター紫波
野鳥や昆虫観察を行い、自然の大切さを学びます。
 - ③ こども向け観察会：環境マイスター紫波
ア 水生生物観察 イ 川についての学習 ウ 野鳥・昆虫観察 エ 夜の観察会
- ◎対象学年：①と②は、小学3年から6年、③は、幼稚園から小学生と保護者
◎時間：1時間から2時間
◎人数：①と②は100名、③は子ども保護者含め50名まで、夜の観察会は10名まで（要相談）
◎費用：講師料、③は保険代も徴収します。

※小学校の講師派遣費用については、学校の支払基準を準用させていただきます。

子ども会等への講師派遣費用については、参加人数、内容等により対応人数が変わりますので、申込みの際、ご確認ください。

申込先：しわエコ連絡会事務局（紫波みらい研究所内） TEL671-2244 FAX671-2243
火～金曜日 8時30分～17時30分 土曜日 9時～15時（日・月・祝日はお休み）

めぐりっと紫波は、紫波町産業部環境課の委託で発行しています。